

生産環境情報・計画学特論演習 (2 単位)

担当者氏名 高橋 悟・豊田裕道・渡邊文雄・島田沢彦・鈴木伸治

◆学習・教育目標

生産環境・自然環境を含めた地域環境の情報を、広域的および局地的アプローチで的確に処理・把握する手法と、計画に反映させるために必要な知識を習得する。また、テーマに即した英文文献を漏れなく収集し、的確なレビューワークを行えるようになることを目指す。この科目は、必要に応じてバイリンガル（日本語と英語）で実施している。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

環境情報

地水工学

農業気象

生産環境計画

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	環境情報学関係ゼミ (第 1~4 週)	・環境情報学関係文献講読とプレゼンテーション ・GIS を用いた集水域解析に関する研究論文講読	・指定英文文献の熟読
2		・地表面反射スペクトル特性に関する研究論文講読	
3		・リモートセンシングによる地表評価研究論文講読	
4		・地水工学関係文献講読とプレゼンテーション	
5	地水工学関係ゼミ (第 5~8 週)	・地水工学関係文献講読とプレゼンテーション ・我が国の水資源と農業用水に関する研究論文講読	・指定英文文献の熟読
6		・乾燥地の特色ある水利用に関する研究論文講読	
7		・寒冷地の特色ある水利用に関する研究論文講読	
8		・農業気象関係文献講読とプレゼンテーション	
9	農業気象関係ゼミ (第 9~12 週)	・農業気象災害とその対策に関する研究論文講読 ・気象変動に関する研究論文講読	・指定英文文献の熟読
10		・気候変動に関する研究論文講読	
11		・各自のテーマに関する文献のプレゼンテーション	
12			
13	総合演習(第 13~15 週)		・英文文献の検索・熟読・発表準備
14			
15			

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

必要に応じて適宜、資料を配布する。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

ゼミ形式で行う課題プレゼンテーションと課題レポートとをあわせて、総合的に評価する。

◆その他受講上の注意事項

文献検索には、検索サーチャー「J-Dream」、ISI Web of Knowledgeなどを活用のこと。